

認 定 書

国 住 指 第 7 9 9 号
平成 27 年 8 月 19 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0813-1
2. 認定をした構造方法等の名称
薬剤処理植物系繊維・合成繊維・無機繊維混紡織物壁紙張／基材（準不燃材料）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

薬剤処理植物系繊維・合成繊維・無機繊維混紡織物壁紙張／基材（準不燃材料）

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の 厚 さ (mm)	5 _{±0.5} 以下
表面化粧材の 質 量 (g/m ²)	2000.0 _{±200.0} 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>薬剤処理植物系繊維・合成繊維・無機繊維混紡織物壁紙 …厚さ$5_{\pm 0.5}$ mm以下、質量$2000.0_{\pm 200.0}$ g/m²以下(有機質量$540.0_{\pm 54.0}$ g/m²以下)</p> <p>[1] 化粧：(1)又は(1)と(2)を組合せた仕様又は(3)とする …質量$1460.0_{\pm 146.0}$ g/m²(固形量)以下(有機質量$63.0_{\pm 6.3}$ g/m²以下) (1) 合成樹脂：1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) (薬剤処理が(1)の場合に限る) 構成(g/m²)： { 合成樹脂^{※1}、有機質系添加剤^{※2}、有機質系顔料^{※3} …$55.0_{\pm 5.5}$以下 (但し、合成樹脂としてポリエステルを使用する場合は $44.0_{\pm 4.4}$以下とする) 無機質系材料、無機質系充てん材、 無機質系顔料、無機質系添加剤^{※4} …0.0以上</p> <p>2) (薬剤処理が(2)の場合に限る) 構成(g/m²)： { 合成樹脂^{※1}、有機質系添加剤^{※2}、有機質系顔料^{※3} …$47.0_{\pm 4.7}$以下 (但し、合成樹脂としてポリエステルを使用する場合は $37.6_{\pm 3.8}$以下とする) 無機質系材料、無機質系充てん材、 無機質系顔料、無機質系添加剤^{※4} …0.0以上</p> <p>(2) 撥水剤：1)、2)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする …質量$8.0_{\pm 0.8}$ g/m²(固形量)以下(有機質量$8.0_{\pm 0.8}$ g/m²以下) 1) パラフィンワックスの水系乳化体 …質量$8.0_{\pm 0.8}$ g/m²(固形量)以下(有機質量$8.0_{\pm 0.8}$ g/m²以下) 2) フッ素樹脂 …質量$8.0_{\pm 0.8}$ g/m²(固形量)以下(有機質量$8.0_{\pm 0.8}$ g/m²以下) (3) なし</p> <p>[2] 主素材^{※5}：植物系繊維^{※6}・合成繊維^{※7}・無機繊維^{※8}混紡織物 …厚さ$2.0_{\pm 0.2}$ mm以下 質量$310.0_{\pm 31.0}$ g/m²以下(有機質量$310.0_{\pm 31.0}$ g/m²以下) 組成(質量%) { 植物系繊維^{※6} ……50.0～100 合成繊維^{※7} ……0～30.0 (但しポリエチレン、ポリプロピレンの場合は0～15.0とする) 無機繊維^{※8} ……0～50.0</p> <p>[3] 接着剤^{※5}：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) エチレン酢酸ビニル系樹脂 …質量$30.0_{\pm 3.0}$ g/m²(固形量)以下(有機質量$30.0_{\pm 3.0}$ g/m²以下) (2) 酢酸ビニル系樹脂 …質量$30.0_{\pm 3.0}$ g/m²(固形量)以下(有機質量$30.0_{\pm 3.0}$ g/m²以下) (3) 酢酸ビニル・アクリル系樹脂 …質量$30.0_{\pm 3.0}$ g/m²(固形量)以下(有機質量$30.0_{\pm 3.0}$ g/m²以下) (4) アクリル系樹脂 …質量$29.0_{\pm 2.9}$ g/m²(固形量)以下(有機質量$29.0_{\pm 2.9}$ g/m²以下)</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[4] 裏打材^{*9} : (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙 : …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下 質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下 (有機質量$100.0_{\pm 10.0}$g/m²以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 有機繊維^{*10} …$100.0_{\pm 10.0}$以下 (但し、合成繊維^{*7}とその他の有機繊維^{*10}を組合せて使用する場合は、合成繊維$24.0_{\pm 2.4}$以下とし、かつ有機質量を$80.0_{\pm 8.0}$以下とする。)</p> <p>② 合成樹脂^{*1}・^{*5}…$13.6_{\pm 1.4}$以下 有機繊維^{*10} …$72.0_{\pm 7.2}$以下 (但し、合成樹脂^{*1}を使用する場合、有機質量を$73.0_{\pm 7.3}$以下とする。有機繊維として合成繊維^{*7}とその他の有機繊維^{*10}を組合せて使用する場合は合成繊維^{*7}は$1.0_{\pm 0.1}$～$26.2_{\pm 2.6}$とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 無機質系充てん材^{*4} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ② なし</p> <p>(2) なし</p> <p>* 薬剤処理</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) : ([1]化粧の合成樹脂が1)の場合に限る)</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様又は混合とする</p> <p>…質量$37.0_{\pm 3.7}$g/m² (固形量) 以下 かつ [2]主素材と [4]裏打材の有機質量に対して$9_{\pm 0.9}$% (固形量) 以上</p> <p>1) りん窒素ハロゲン系化合物 …質量$37.0_{\pm 3.7}$g/m² (固形量) 以下 かつ [2]主素材と [4]裏打材の有機質量に対して$9_{\pm 0.9}$% (固形量) 以上</p> <p>2) 硫黄系化合物 …質量$37.0_{\pm 3.7}$g/m² (固形量) 以下 かつ [2]主素材と [4]裏打材の有機質量に対して$9_{\pm 0.9}$% (固形量) 以上</p> <p>(2) : ([1]化粧の合成樹脂が2)の場合に限る)</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様又は混合とする</p> <p>…質量$45.0_{\pm 4.5}$g/m² (固形量) 以下 かつ [2]主素材と [4]裏打材の有機質量に対して$9_{\pm 0.9}$% (固形量) 以上</p> <p>1) りん窒素ハロゲン系化合物 …質量$45.0_{\pm 4.5}$g/m² (固形量) 以下 かつ [2]主素材と [4]裏打材の有機質量に対して$9_{\pm 0.9}$% (固形量) 以上</p> <p>2) 硫黄系化合物 …質量$45.0_{\pm 4.5}$g/m² (固形量) 以下 かつ [2]主素材と [4]裏打材の有機質量に対して$9_{\pm 0.9}$% (固形量) 以上</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>※1:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコーン系、ポリエステル系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:有機質系添加剤は、発泡剤（アゾジカルボンアミド系、オキシビスベンゼンスルホンヒドラジド系）、防かび剤、エチレングリコール、有機系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4:無機質系材料、無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、ホウ酸亜鉛、シリカ、金属（箔、粉、糸状）のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5:アゾ系、キノン系の染料、又は有機質系顔料^{※3}、無機質系顔料^{※4}を含む場合がある。</p> <p>※6:植物系繊維は、パルプ、綿、麻、レーヨン、スフ、キュプラ、アセテート、セルロース系繊維のいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※7:合成繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエーテルエステル、ポリウレタンのいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※8:無機繊維は、金属繊維系、ガラス繊維系、炭素繊維のいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※9:裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non wovenpaper) のいずれかとする。</p> <p>※10:有機繊維は、植物系繊維^{※6}、合成繊維^{※7}のいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]でん粉系接着剤 …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 組成(質量%) でん粉のり ……$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー:合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]メチルセルロース系接着剤 …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 組成(質量%) メチルセルロース ……$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー:合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>※11:補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。 ※12:合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料 平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

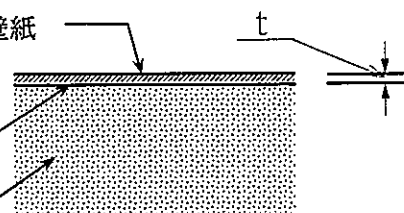
4. 構造説明図

(寸法単位: mm)

1) 表面化粧材…薬剤処理植物系繊維・合成繊維・無機繊維混紡織物壁紙

2) 接着剤およびシーラー

3) 基 材…準不燃材料[※]



$t = 5$ 以下

※平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの